

戦争させない・9条壊すな

11・11 総がかり国会包囲行動 戦争反対 安倍政権を倒すぞ

(全自交もシュプレヒコールを上げ続けた)

2014年11月11日 戦争させない・9条壊すな 11・11 総がかり国会包囲行動に参加

戦争をさせない1000人委員会らが呼びかける「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり国会包囲行動」が11月11日に国会周辺で行われ、多くの市民・労組・文化人・弁護士らが国会周辺に結集し、安倍政権が進める特定秘密保護法、集団的自衛権容認の閣議決定、沖縄新基地建設等の「戦争ができる国づくり」に向けた暴走を止めるために怒りの声を上げました。全自交労連も「戦争反対・集団的自衛権 NO」のボードを掲げ、積極的に参加しました。

結集した参加者は、国会前の夕闇を切り裂く音量で「憲法破壊の安倍は退陣しろ」「集団的自衛権容認は許さないぞ」「消費税増税反対」等のシュプレヒコールを上げ続けました。

国会正門前の集会では、社民党の吉田党首がマイクを握り、集団的自衛権容認の閣議決定を痛烈に批判するとともに、沖縄新基地建設を批判し「沖縄県知事選での翁長候補の勝利を全力で勝ちとろう」と力強く訴えました。

また、呼びかけ人の佐高信氏が金権腐敗にまみれた自民党の体質を暴露し、批判をかわすために解散に動いている安倍首相を厳しく批判しました。



同じく呼びかけ人の雨宮処凛氏は「安倍政権の下で非正規労働者が拡大し、格差は深刻になった。派遣法の改悪で生涯派遣の若者が増える」と訴えました。

その他、呼びかけ人の香山リカ氏、落合恵子氏らが参加者に戦争反対と安倍内閣打倒を力強く訴えました。

この日の行動には、平和フォーラムをはじめ、支持政党の垣根を越えて7000名を超える市民らが国会を取り囲み、終始熱気ある行動として取り組まれました。